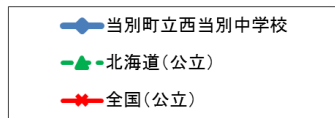
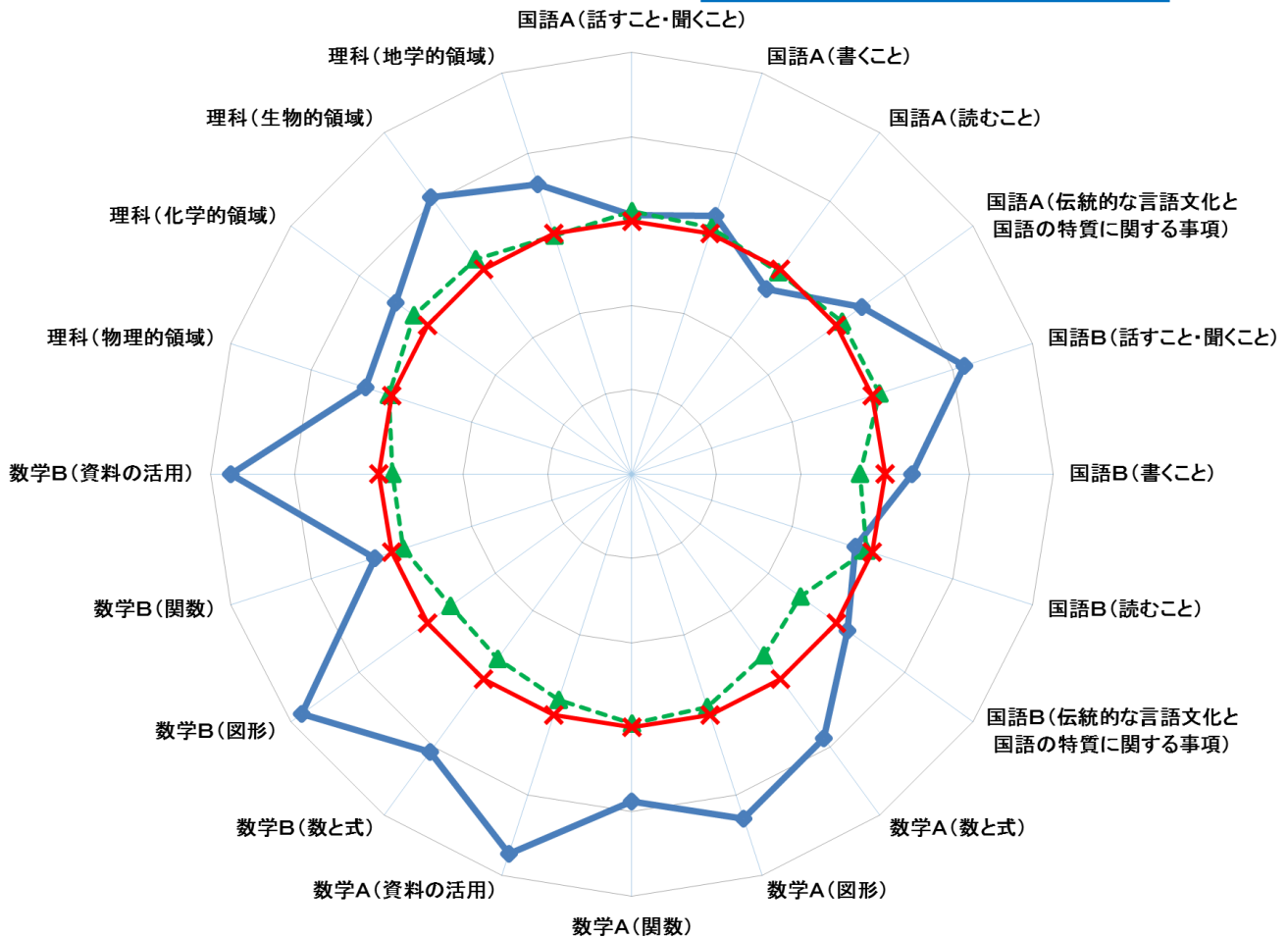


平成30年度全国学力・学習状況調査 結果と分析



教科全体の結果



1. 領域別の状況

【国語A】(主として知識) …全国の平均正答率と「ほぼ同様(上位)」の結果でした。

①領域別…「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が全国平均と「ほぼ同様(上位)」という結果でした。

②力がついているところと今後の伸ばしたいところ

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く。
- 話合いの話題や方向を捉えて的確に話す。○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。
- 文脈に即して漢字を正しく書く。○行書の基礎的な書き方を理解して書く。
- 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する。(読むこと)

【国語B】(主として活用) …全国の平均正答率と「ほぼ同様(上位)」の結果でした。

①領域別…「話すこと・聞くこと」の領域が全国平均より「相当高い」結果でした。「読むこと」に課題がありますので、力を入れていきます。

②力がついているところと今後の伸ばしたいところ

- 質問の意図を捉える。○全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す。
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつ。

【数学A】(主として知識) …全国の平均正答率より「高い」結果でした。

①領域別…すべての領域で全国平均を上回っています。

「図形」「資料の整理」の領域は全国平均より「相当高い」という結果でした。

②力がついているところと今後の伸ばしたいところ

- 指数を含む計算。○等式の変形・等式の性質の活用。○比例式の計算。○回転移動の作図。
- 線対称・点対称等、図形の特徴。○一次関数の変化の割合。○確率の意味と求め方。

【**数学B**】（主として活用）…全国の平均正答率より「高い」結果でした。

①領域別…すべての領域で全国平均を上回っています。「数と式」「資料の整理」の領域は全国平均より「高い」という結果で、「図形」の領域は「相当高い」という結果でした。

②力がついているところと今後の伸ばしたいところ

○事象の傾向を捉え、判断理由を説明する。○計算の順番を入れ替えたときの結果を数学的に表現する。

○付加された条件下で、新たな事柄を見だし、説明する。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。

【**理科**】全国の平均正答率より「やや高い」結果でした。

①領域別…すべての領域で全国平均を上回っています。「生物」の領域は全国平均より「高い」という結果で、「化学」「地学」の領域は「やや高い」という結果でした。

②力がついているところと今後の伸ばしたいところ

○1つの要因を変えると他の要因も変わる可能性の指摘。○原子記号の表し方についての知識。

○刺激と反応についてのモデル実験の場面で、知識・技能の活用。

○風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能の活用。

●シミュレーションの結果について、考察・内容を検討、改善すべき条件を指摘できる。

2. 生徒質問紙の状況

【**基本的生活習慣・学校生活**】

○「自分には良い所がある」「先生は自分を認めてくれる」「夢・目標がある」の項目について、肯定回答の割合が昨年と同様、もしくは上昇している。（この3項目は全国比+10以上）

○「毎日朝食を食べている」、「人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒が95%以上である。

○家庭学習に関するすべての質問項目で全国比を上回っている。（時間、予習・復習、自分で計画等）

●「毎日同じ時間に寝る」、「毎日同じ時間に起きる」が全国の割合を下回っている。（全国比-10以上）

【**地域とのかかわり**】

○地域とのかかわりに関する9の項目中、7項目で昨年度の割合を上回っている。

○「授業等で地域を調べ、地域の人と関わる機会があった」、「地域の行事に参加」全国平均を上回っている。

●「地域や社会の問題や出来事に関心がある」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」生徒が全国平均より下回っている。

【**学習に対する関心意欲・研究の成果**】

○「数学の授業が分かる、大切である、できるようになりたい」生徒は、昨年度の割合を上回っている。

○「数学の問題の解き方が分からないとき、諦めずに他の方法を考える」生徒の割合は、全国を上回っている。

○理科の授業で「自分の考え・考察を周囲に説明・発表した」「理科室で実験等を週1回以上行った」は、全国比を上回っている。

●理科・数学の授業で学習したことが「社会に出たときに役に立つ」「普段の生活の中で活用できないか」と考えている生徒の割合が全国平均を下回っている。

3. 今後の取り組み

○研究部を中心に、全教職員で研修を行い授業改善に取り組みます。

・小中一貫を活用した授業形態の工夫（板書・ノート、ペア・グループワーク等）・道徳授業の充実（心の育成）

・主体的な学びとなる課題や発問の工夫 ・補充学習、振り返り活動、教えあい学びあい活動の充実 等

○放課後学習会、テスト前学習会、長期休業中の学習会なども開催し、学習機会・環境づくりに努めます。

○習熟度別やTT指導、非常勤講師、支援員、SAT、ALT等を活用し、個に応じた指導の充実を図ります。

○家庭学習提示の工夫、取り組み方について指導するとともに、生徒会活動も生かしながら、家庭学習の習慣化に努めます。また、二者懇談・三者懇談でも話題に取り上げ、家庭とも連携し家庭学習の習慣化を支援します。

○委員会活動や自治活動の活性化を図り、更に自己有用感を高める工夫をします。

○CS・一貫の組織を生かし、生徒が小学生や地域の方々と、もっと関わることのできるように努めます。

・地域人材・資源の活用 ・地域行事へ積極的な参加 ・小学校行事への参加等

調査結果から、昨年同様、多くのご家庭で学習面、生活面に対するお子様への支援を大切にされていることが明らかになっています。しかし、変化の激しい現代社会で、これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を育成するためにも、地域・家庭との目標・課題の共有が重要になっています。学校としても、定期的に調査・分析を行い、地域・家庭のご意見を聞きながら、長期・短期的な改善策を講じ、学校運営に努めていきたいと思っております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い致します。